

第18回ヤマセ研究会プログラム ver.4			2023.2.28-3.1 東北大学青葉山北キャンパス 物理系研究棟 (H26) 地球物理第2講義室 (412号室)	
2月28日 (火)				
No.	開始時間	終了時間	発表者	演題
	13:30	13:35	山崎 剛 (東北大学)	開会のあいさつ
1	13:35	13:55	大久保さゆり (農研機構東北農業研究センター)	北日本にみられる4月8月の気温の負の相関関係のその後と関係する要因 (仮)
2	13:55	14:15	菅野洋光 (農研機構)	古文書に基づく小笠原諸島 父島における1906年以前の降水量の復元
3	14:15	14:35	白川栄一 (東北大学)	RRJ-Convの降水の検証 (2001年~2020年の大雨)
4	14:35	14:55	橋本明弘 (気象研究所)	Rainscopeゾンデ観測と数値モデルによる降水形成機構解明
	14:55	15:15	休憩	
5	15:15	15:35	井上 聡 (農研機構東北農業研究センター)	統計的手法による気候区分の特徴とその農業利用
6	15:35	15:55	吉田龍平・西原是良・高橋大輔 (福島大)	収量と品質の変化に基づく東北のコメ生産額の将来予測
7	15:55	16:15	小笹純輝・吉田龍平 (福島大)	やませの将来変化—CMIP5/6モデルの比較—
8	16:15	16:35	宗形烈人・吉田龍平 (福島大)	ドローンを用いた気象観測がもたらす東日本における冷夏予測への寄与
	16:35	16:55	休憩	
9	16:55	17:15	伊藤純至 (東北大)・吉野勝美 (元全日空)	福島市上空でのハイドロリックジャンプと強い乱気流
10	17:15	17:35	土屋俊太・谷田貝亜紀代 (弘前大学)	寒気質量を用いた近畿地方日本海側の大雪の大気大循環的要因の解明
11	17:35	17:45	佐藤玲央 (岩手大学)	多窒素施用がイネ穂ばらみ期耐冷性を低下させる要因の解明
3月1日 (水)				
12	9:30	9:50	天野未空 (三重大学)	気候変化から探る近年において災害級の冷夏が発生していない理由
13	9:50	10:10	岡地寛季 (北海道大学)	2019年台風19号を対象とした山越る降雨の特徴 (仮)
14	10:10	10:30	石原道秀 (北海道大学)	石狩川河口域における塩水遡上発生時の水理・水文学的要因の分析
	10:30	10:50	休憩	
15	10:50	11:10	瀬崎歩美 (気象庁)	気象庁が開発する最新の地球温暖化予測情報等の紹介
16	11:10	11:30	遠藤伸彦 (海洋研究開発機構)	DIASと気候予測データセット2022公開サイトの紹介
17	11:30	11:50	川瀬宏明 (気象研究所)	d4PDF5km全国アンサンブル実験による極端降水の将来変化
	11:50	12:10	全体討論・研究会の今後について	